

NY マーケットレポート (2016年10月14日)

NY 市場では、序盤に発表された米小売売上高が2ヵ月ぶりにプラスとなったことを受けて、年内の利上げ観測が意識され、ドルは堅調な動きとなった。しかし、その後に発表されたミシガン大学消費者信頼感指数が、昨年9月以来1年1ヵ月ぶりの低水準となったことや、原油価格、株価が下落したことを受けて、円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ただ、終盤には、米国債利回りが上昇したことからドル買いとなり、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。

2016年10月14日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	104.22	104.28	103.62
EUR/JPY	114.75	114.89	114.52
GBP/JPY	127.03	127.40	126.69
AUD/JPY	79.18	79.26	78.38
EUR/USD	1.1013	1.1059	1.1004

LONDON	高値	安値
USD/JPY	104.42	104.14
EUR/JPY	115.05	114.70
GBP/JPY	127.92	126.94
AUD/JPY	79.63	79.22
EUR/USD	1.1025	1.1003

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	104.21	104.49	103.81
EUR/JPY	114.36	114.96	114.22
GBP/JPY	127.04	127.94	126.73
AUD/JPY	79.30	79.73	79.16
NZD/JPY	73.85	74.17	73.70
EUR/USD	1.0975	1.1028	1.0970
AUD/USD	0.7611	0.7648	0.7604

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18138.38	+39.44
S&P500	2132.98	+0.43
NASDAQ	5214.16	+0.83
日経225 (CME)	16875	+100
トロント総合	14584.99	-58.72
ボルサ指数	47701.45	-40.09
ボベスパ指数	61767.22	+648.64

10/17 経済指標スケジュール

08:01	【英国】10月ライトムーブ住宅価格
09:30	【シンガポール】9月輸出[除石油]
13:00	【日本】9月首都圏新規マンション発売
13:30	【日本】8月鉱工業生産
13:30	【日本】8月稼働率指数
15:00	【ノルウェー】9月貿易収支
16:00	【トルコ】7月失業率
18:00	【欧州】9月消費者物価指数
21:30	【米国】10月ニューヨーク連銀製造業景気指数
21:30	【カナダ】8月国際証券取扱高
22:15	【米国】9月鉱工業生産
22:15	【米国】9月設備稼働率

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1255.50	-2.10
NY 原油	50.35	-0.09
CMEコーン	354.25	+4.75
CBOT 大豆	962.50	+6.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.839%	0.839%
3年債	1.003%	0.995%
5年債	1.287%	1.262%
7年債	1.592%	1.551%
10年債	1.798%	1.745%
30年債	2.558%	2.481%

ドイツ10年債	0.058%	0.038%
英国 10年債	1.097%	1.024%

10/17 主要会議・講演・その他予定

・黒田日銀総裁 挨拶

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8月ポーランド経常収支 -10.47 億 PLN (予想 -3.66 億 PLN・前回 -6.35 億 PLN)
 前回発表の-8.02 億 PLN から-6.35 億 PLN に修正

8月ポーランド貿易収支 -5.09 億 PLN (予想 -0.90 億 PLN・前回 -3.22 億 PLN)
 前回発表の-3.13 億 PLN から-3.22 億 PLN に修正



21 : 00

◀ 要人発言 ▶

ローゼングレン・ポストン連銀総裁~CNBC とのインタビュー

- ・「市場予想よりも速く利上げを実施する必要も」
- ・「市場の 12 月利上げの織り込み具合はほぼ適切」

《企業決算》

米シティ

第3四半期の調整後1株利益は1.24ドル（予想1.15ドル）

21:30

《経済指標の結果》

9月米小売売上高（前月比） 0.6%（予想 0.6%・前回 -0.2%）

前回発表の-0.3%から-0.2%に修正

9月米小売売上高[除自動車]（前月比） 0.5%（予想 0.5%・前回 -0.2%）

前回発表の-0.1%から-0.2%に修正



出所：Bloomberg

指標結果データ

《米小売売上高》

	9月	8月	7月	6月	5月	4月	前年同月
小売売上高	0.6	-0.2	0.1	0.7	0.2	-1.2	3.4
除く自動車	0.5	-0.2	-0.4	0.8	0.3	-0.9	3.5
自動車・部品	1.1	-0.3	1.7	0.5	-0.3	-2.6	1.4
建設資材等	-1.4	-0.7	2.0	0.5	-0.3	-2.6	2.5
食品・飲料	0.1	0.3	-0.4	0.1	0.2	-1.2	1.6
総合小売店	-0.4	-0.4	-0.6	0.2	-0.5	-0.2	-2.5
大規模小売店	-0.7	-0.6	-1.3	0.0	-0.9	-0.4	-6.4
無店舗小売店	0.3	-0.1	0.7	0.1	1.8	-2.8	10.6
その他小売店	1.8	-0.9	-0.1	-0.3	-1.2	-2.5	-5.6

（前月比%）

9月の米小売売上高は、前月比+0.6%の4598億2100万ドルとなり、2ヵ月ぶりのプラスとなった。原油安がひとまず解消し、ガソリンスタンドの上昇が全体を押し上げる要因となった。前年同月比では+2.7%となった。変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は+0.5%、前年同月比では+2.7%だった。品目・業種別では、自動車・同部品が+1.1%、ガソリンスタンドが+2.4%、建材・園芸が+1.4%、家具・装飾が+1.0%、食品・飲料が+0.1%となった。また、無店舗小売店は+0.3%とプラスに転じたが、大規模小売店は-0.7%と3ヵ月連続のマイナスとなった。

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米生産者物価指数(前月比) 0.3% (予想 0.2%・前回 0.0%)

9月米生産者物価指数[コア] 0.2% (予想 0.1%・前回 0.1%)

9月米生産者物価指数(前年比) 0.7% (予想 0.6%・前回 0.0%)

9月米生産者物価指数[コア] 1.2% (予想 1.2%・前回 1.0%)



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀ 生産者物価指数 ▶

	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月
最終需要	0.3	0.0	-0.4	-0.5	0.3	0.3	-0.1
消費財	0.7	-0.4	-0.4	-0.7	0.8	0.4	0.2
食料品	0.5	-1.6	-1.1	-0.8	0.6	-0.5	-0.9
エネルギー全体	2.5	-0.8	-1.0	3.4	3.7	1.8	1.8
除く食品・エネルギー	0.3	0.1	0.0	-0.1	0.2	0.3	0.1
サービス	0.1	0.1	-0.3	-0.4	0.0	0.2	-0.2

9月の米生産者物価指数は、モノとサービスを合わせた総合指数が前月比+0.3%となり、市場予想の+0.2%を上回った。前年同月比では+0.7%となり、2014年12月以来の水準となった。エネルギー価格の上昇と輸送分野の上昇が目立った。変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースでは、前月比+0.2%となり、前年同月比では+1.2%となった。食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースは、前月比+0.3%、前年同月比では+1.5%となった。モノは前月比で+0.7%、前年同月比では-0.4%、ガソリンなどのエネルギー価格は前月比+2.5%、食品は+0.6%となった。サービスは+0.1%となり、貿易は-0.4%、輸送・倉庫は+1.3%。サービス全体の前年同月比は+1.4%だった。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月ミシガン大学消費者信頼感指数 87.9 (予想 91.8・前回 91.2)



出所：Bloomberg

経済指標データ

《ミシガン大学消費者信頼感指数》

	10月速報	9月	8月	7月	6月	5月
消費者信頼感	87.9	91.2	89.8	90.0	93.5	94.7
景気現況指数	105.5	104.2	107.0	109.0	110.8	109.9
消費者期待指数	76.6	82.7	78.7	77.8	82.4	84.9
1年インフレ	2.4	2.4	2.5	2.7	2.6	2.4
5年インフレ	2.4	2.6	2.5	2.6	2.6	2.5

10月の米ミシガン大学消費者信頼感指数の速報値は、9月の確報値から3.3ポイント低下の87.9となり、昨年9月以来1年1ヵ月ぶりの低水準となった。現状指数は105.5と9月確報値から1.3ポイント上昇したものの、先行き指数は76.6と9月確報値から6.1ポイント低下となった。1年後のインフレ期待は2.4%と9月確報値と同じ、5年後のインフレ期待は2.4%と9月確報値から0.2ポイント低下した。

23:00

《 経済指標の結果 》

8月米企業在庫（前月比） 0.2%（予想 0.1%・前回 0.0%）



出所：Bloomberg

＜米企業在庫＞

	8月	7月	6月	5月	4月	3月	前年同月比
企業在庫	0.2	0.0	-0.2	0.2	0.1	0.3	0.5
製造業	0.2	0.2	-0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-2.9
小売業	0.6	-0.2	0.4	0.5	-0.1	0.9	4.4
卸売業	-0.2	-0.1	0.3	0.2	0.7	0.2	0.5

	8月	7月	6月	5月	4月	3月	前年同月比
企業売上	0.2	-0.3	1.0	0.3	0.8	0.2	-0.8
製造業	0.0	-0.4	0.6	0.1	0.4	0.3	-3.0
小売業	-0.3	0.1	0.8	0.1	1.4	-0.3	2.0
卸売業	0.3	-0.6	1.7	0.7	0.8	0.6	-1.0

8月の米企業在庫は、前月比+0.2%の1兆8169億700万ドルとなった。前年同月比では+0.7%となった。小売業と製造業の在庫が増え、卸売業のマイナスを補った。業種別では、小売業が前月比+0.6%、製造業が+0.2%、卸売業は-0.2%となった。自動車・同部品を除く小売業は+0.3%となった。小売業では、自動車・同部品が+1.2%、家具・家電は+0.5%、建材・園芸は+0.7%、総合小売りは-0.3%となった。

食品・飲料と服飾はそれぞれ+0.2%。

企業売上高は、前月比+0.2%の1兆3041億3800万ドルとなり、前年同月比では横ばいだった。業種別の前月比では、小売業が-0.3%、卸売業は+0.7%、製造業は横ばいだった。在庫高は売上高の1.39ヵ月分に相当し、前月から横ばいだった。

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、中国の経済指標が好調だったことで世界経済の先行き懸念が和らいだことから、主要株価は堅調な動きとなった。また、最近の株価下落で値頃感が出た銘柄を買う動きも広がった。



出所：Bloomberg

2:40

＜ 要人発言 ＞

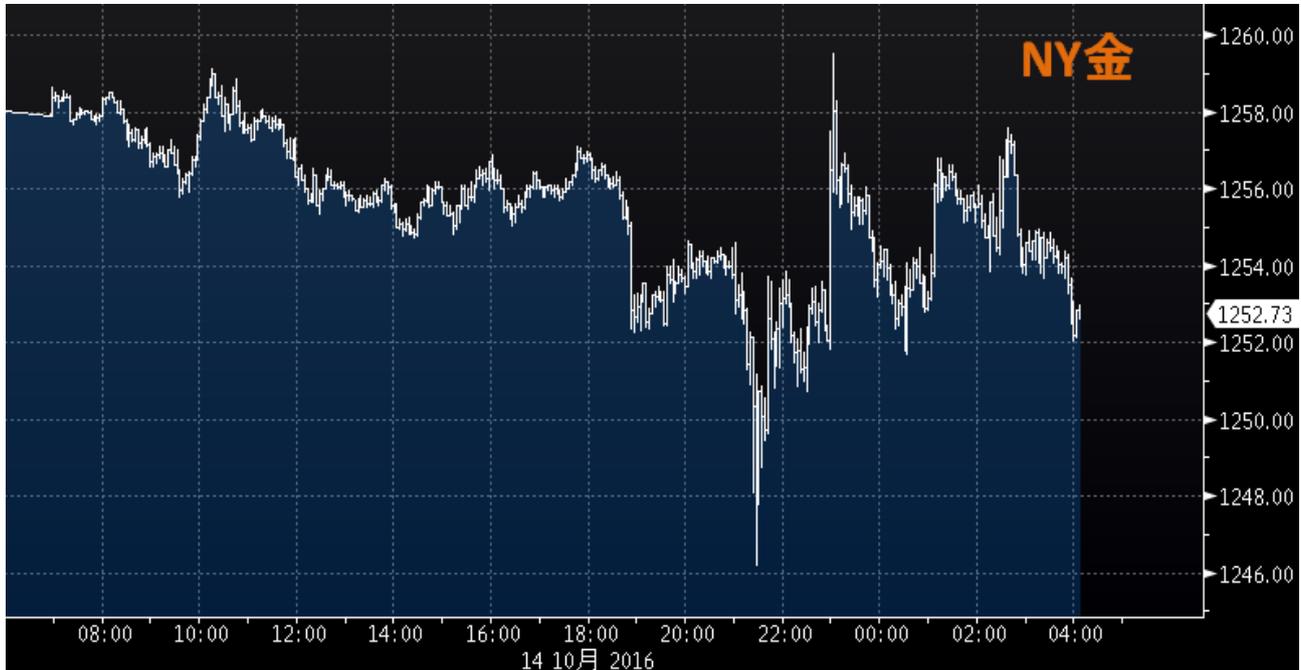
イエレンFRB議長～講演テキスト

- ・「緩和政策を長く維持し過ぎると代償も」
- ・「代償は金融不安定やインフレを含む可能性も」
- ・「将来、短期金利の引き下げだけでは不十分になる恐れも」
- ・「政策当局者は危機の原因について理解を深める必要がある」
- ・「労働市場とインフレの関係は弱まったように見える」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 2.10 ドル安の 1 オンス=1255.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、9 月の米小売売上高、卸売物価指数が堅調な結果となり、年内の米追加利上げ観測が強まったことから、金を売る動きが優勢となった。また、ドルが主要通貨に対して上昇し、ドルの代替資産としての需要が後退したことも影響した。

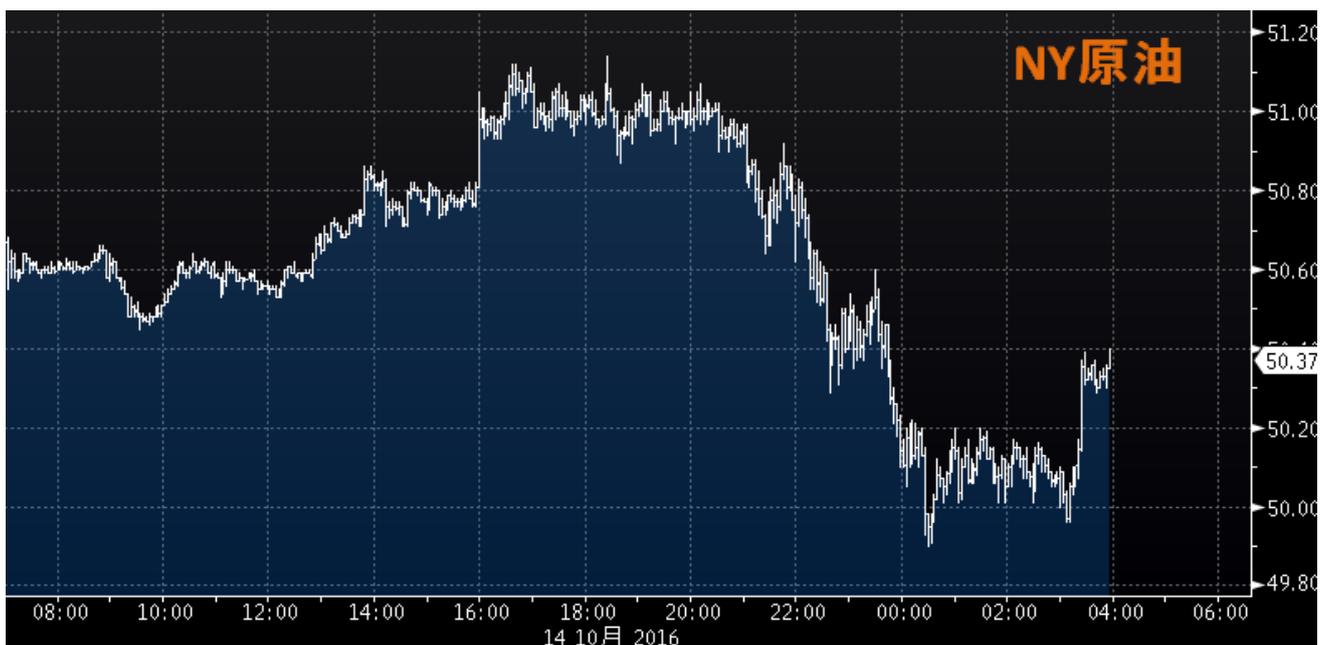


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.09 ドル安の 1 バレル=50.35 ドルで取引を終了した。

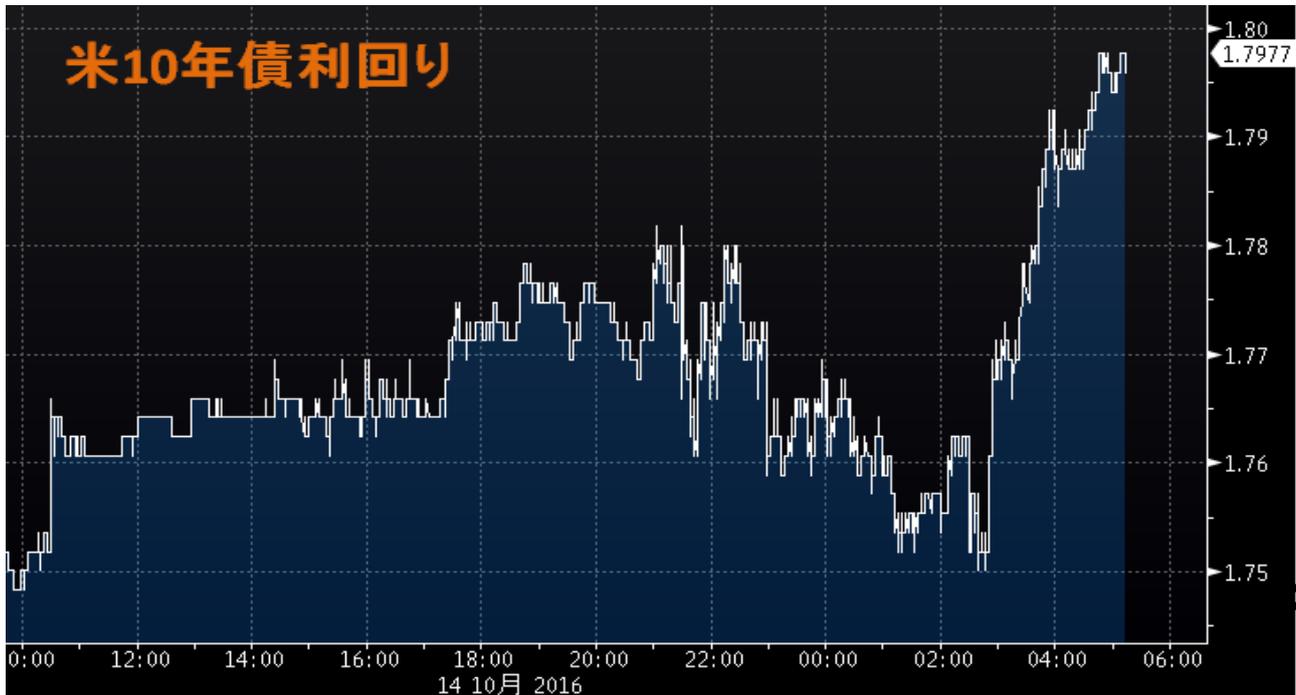
NY 原油は、前日発表された米原油在庫の増加が材料視されたほか、ドルが主要通貨に対して上昇し、ドル建て原油に割高感が出たことも圧迫材料となった。



出所：Bloomberg

5:00

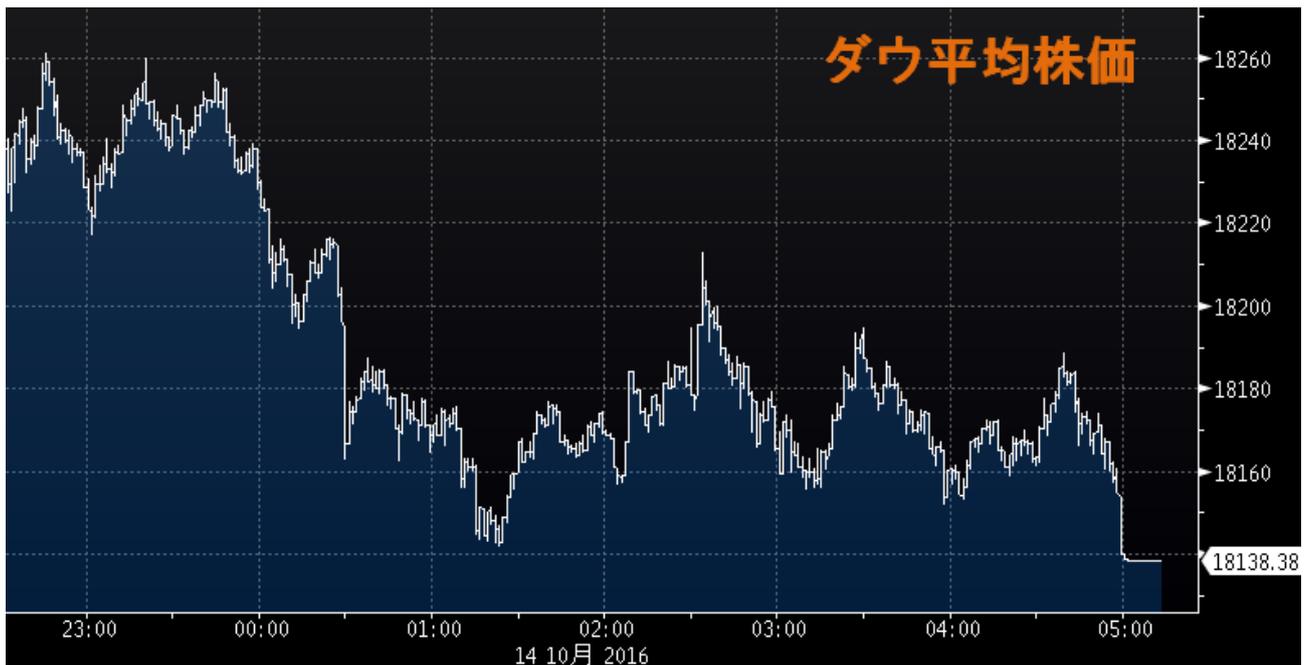
米10年債利回りは1.750%から1.7977%まで上昇



出所：Bloomberg

《米株式市場》

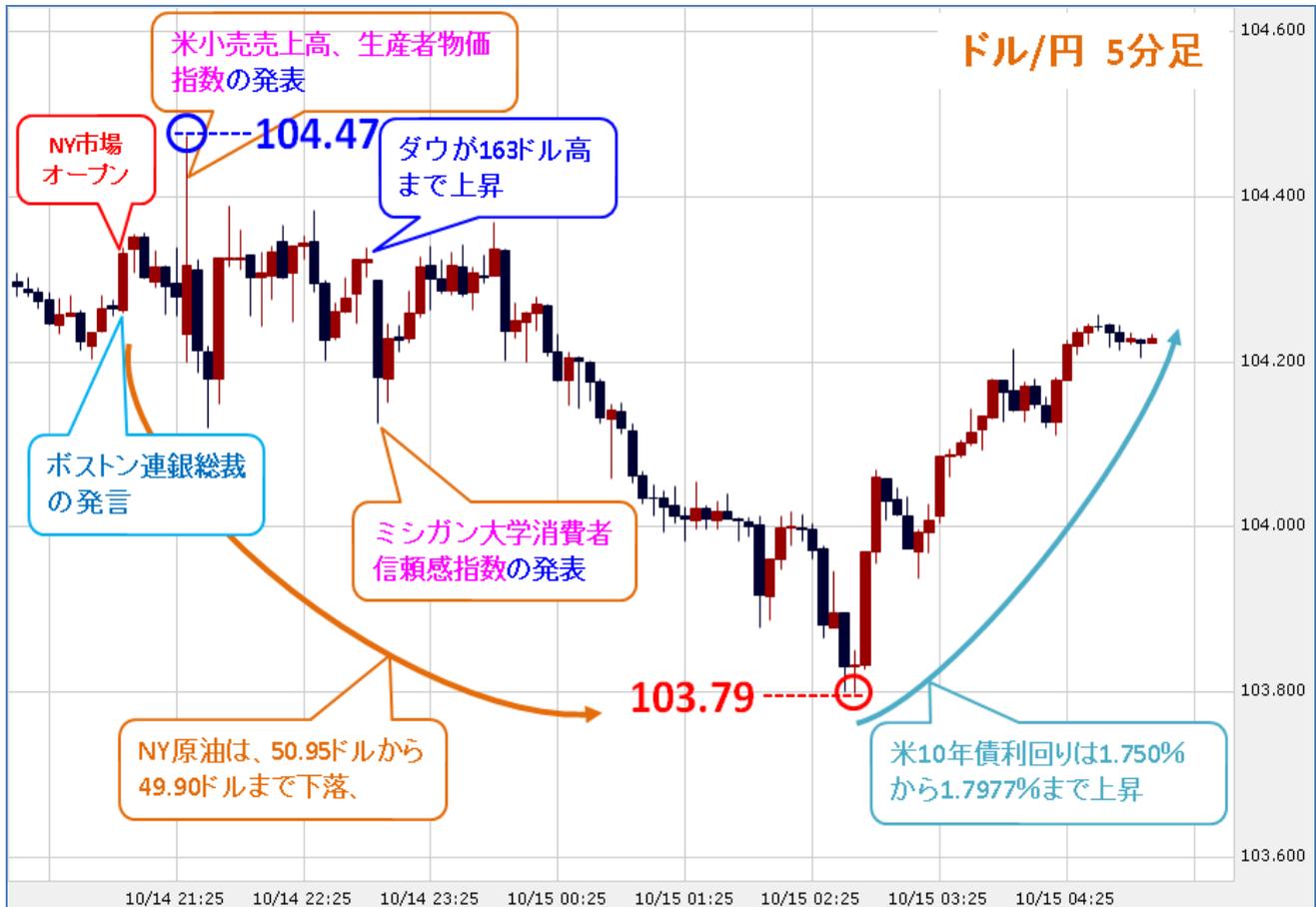
米株式市場は、米小売売上高が堅調だったことを受けて、米景気の先行き期待を背景に、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。そして、大手金融の四半期決算が市場予想を上回ったことも押し上げ要因となった。その後は、利益確定の動きや原油価格の下落の影響で上げ幅を縮小する場面もあった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比 163 ドル高まで上昇したものの、上げ幅を縮小して引けた。



出所：Bloomberg

＜外国為替市場＞

外国為替市場は、序盤は米経済指標の好調な結果もあり、堅調な動きとなったものの、原油価格の下落などを受けて、円買いが優勢となった。ただ、終盤には米債券利回りが上昇したことから、ドル買いが優勢となり、ドル/円は堅調な動きとなったが、対ドルでやや軟調な動きとなったことから、クロス円はやや上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。